

にいがた

畜産協会たより

公益社団法人

新潟県畜産協会

新潟市西区山田2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL.025-234-6781～6783



12月8日開催 協同組合まつり

目次

- ◆ 年頭のご挨拶 (2)
- ◆ 畜産物価格の状況及び関連制度等の (3)
発動状況について
- ◆ 協同組合まつりに参加しました (4)
- ◆ 「うまいに、まっすぐ。 (4)
新潟県フェア」に出店しました！
- ◆ にいがた畜産女子会活動 (5)
- ◆ 家畜伝染病の発生リスクが (6)
高まっています！
- ◆ にいがた和牛推進協議会からのご報告 ... (7)
- ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより (8)
- ◆ ちくさん女子の窓 (8)
- ◆ 編集後記 (8)

年頭のご挨拶



公益社団法人新潟県畜産協会

会長 伊藤 能 徳

新年明けましておめでとうございます。

令和7年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃から、当協会の業務推進に格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、元旦に石川県能登地方を震源とする地震が発生し、県内でも震度6弱の揺れを観測しました。被災された皆様には改めてお見舞い申し上げます。県内でも住宅や農業施設に多数の被害がありましたが、畜産関係では、飼料タンクの破損等があったものの、被害は比較的少ない状況でした。このため、公益社団法人中央畜産会が主体となり全国の畜産会組織等から募集しました支援金については、被害の大きかった石川県に集中して支援を行いました。

次に、家畜伝染病については、8月に新発田市で豚熱、10、11月に上越市と胎内市で高病原性鳥インフルエンザの発生がありました。県内では野生動物から原因ウイルスが検出されており、引き続き防疫対策の強化が必要な状況です。当協会では、県等と協力し防疫演習の実施や発生防止対策の啓発等を行っているところです。

畜産物価格については、このところの物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まり等の影響により、令和5年から牛肉価格の低迷が続いています。さらに、飼料・資材価格の高止まりの状況が続き、肥育農家の需要が低下し、子牛価格の低下も続いています。

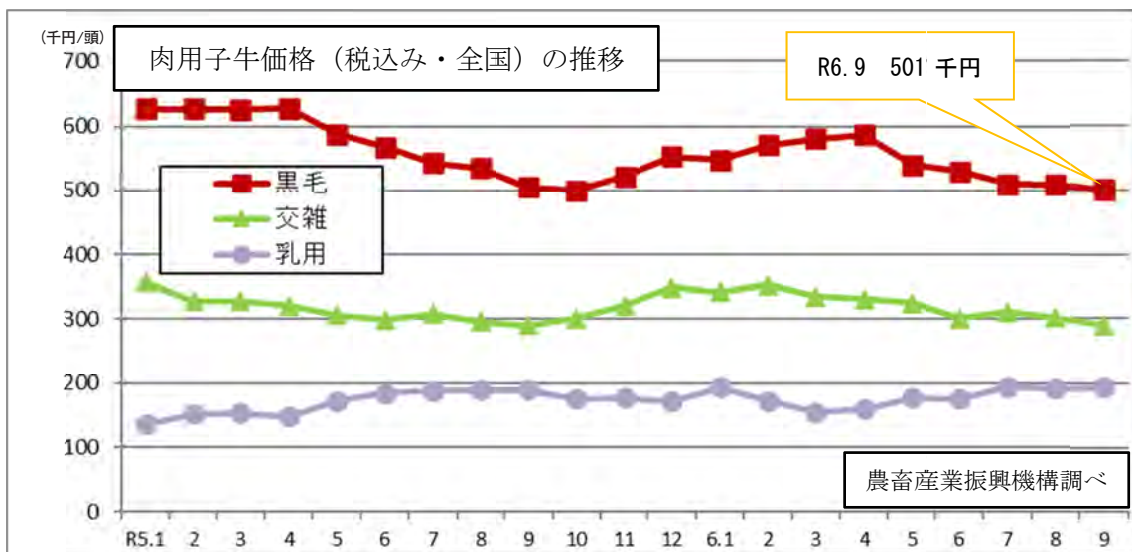
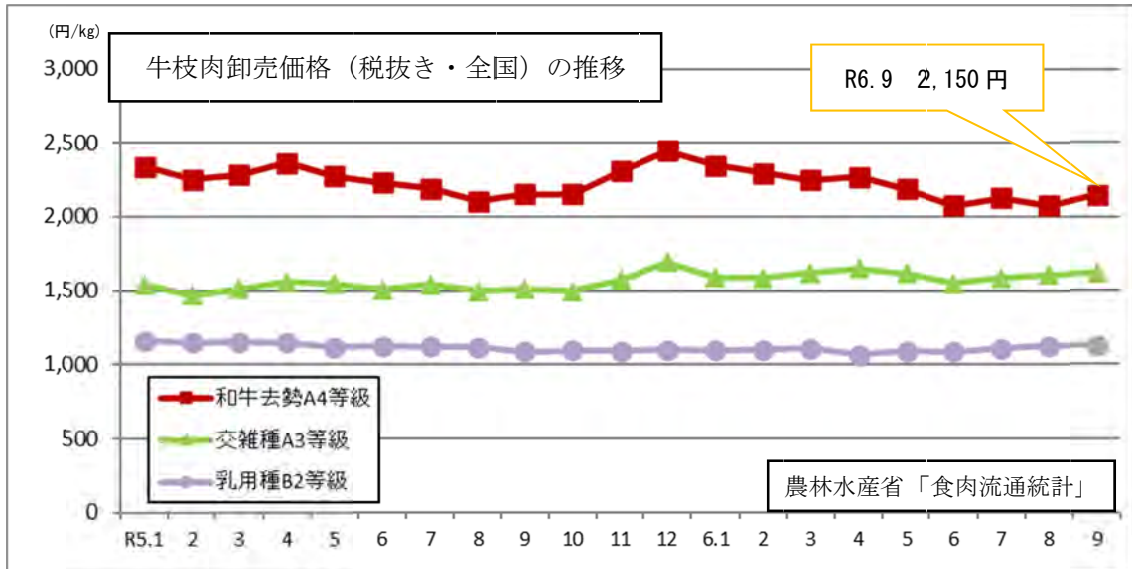
このため、肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）及び肉用子牛生産者補給金の発動が続いており、さらに、和子牛生産者臨時経営支援事業による支援金の給付も行われています。当協会では的確な事務処理を行い、確実な給付に努めているところです。

今後も畜産をとりまく情勢は厳しい状況が続くことが予測されます。当協会では、国、県及び公益社団法人中央畜産会等の関係団体と連携して、経営コンサル事業、価格安定制度の運用及び家畜衛生事業等を的確に実施し、生産基盤の強化、生産性向上による所得の確保及び家畜衛生対策の徹底に取り組んでまいり所存です。

結びに、令和7年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

畜産物価格の状況及び関連制度等の発動状況について

飼料・資材高騰を始めとした様々な要因が大きく変動している昨今の情勢に伴い、
 標題のことについて直近の情報を提供いたします。



【本県の制度（事業）別の発動額（令和6年度）】

（単位：円）

制度(事業)名	4月分	5月分	6月分	7月分	8月分	9月分	合計
①肉用子牛生産者 補給金制度 (法定事業)		6,554,000			15,233,400		21,787,400
②優良和子牛生産 推進緊急支援事業 (単年度事業)		6,090,000			4,800,000		10,890,000
子牛関係合計 (①+②)		12,644,000			20,033,400		32,677,400
③肉用牛肥育経営 安定交付金制度 (法定事業)	570,644	1,010,565	11,189,950	10,829,909	11,875,647	8,545,908	44,022,623

※肉用子牛生産者補給金制度及び優良和子牛生産推進緊急支援事業は3か月毎、肉用牛肥育経営安定交付金制度は毎月発動の有無が決まります。

協同組合まつりに参加しました

12月8日（日）、新潟市産業振興センター（新潟市中央区鐘木）で第22回協同組合まつり（主催：新潟県協同組合間提携推進協議会）が開催され、雪で寒い気候の中、たくさんの来場者にお越しいただきました。

当協会のブースでは、新潟県の畜産やにいがた和牛、にいがた畜産女子会の紹介をするとともに、「アンケートに回答してガラポン抽選会に参加しよう！」のイベントを開催しました。

ガラポン抽選会では、新潟県内の畜産物（和牛や豚肉のレトルトカレー、卵、はちみつ、牛乳を使ったお菓子）などを景品とし、来場者の皆様に大変喜んでいただきました。また、動物パズルコーナーでは、にいがた和牛公式キャラクター「ニーモ」のステッカーを配布し、小さなお子様たちに楽しんでいただくことができました。



動物パズルコーナーの様子



人気のぬいぐるみ

昨年に引き続き参加しましたが、今年もたくさんの消費者の皆様とふれあうことができました。来場いただいた皆様ありがとうございました。

「うまいに、まっすぐ。 新潟県フェア」に出店しました！ （にいがた和牛推進協議会）

11月30日(土)～12月1日(日)、県産農林水産物のブランド化を進める一環として、新潟県が主催する標記イベントが新潟ふるさと村で開催され、にいがた和牛のPRの一環として当協議会も出店しました。

当日はブースにおいてリーフレット・取扱指定店ガイドを配布したほか、にいがた和牛推進協議会の会員である株式会社三国様にご協力いただき、精肉およびレトルトカレーを販売しました。

会場では新潟県非公認PRキャラクターであるニイガタ姉さんの司会のもと、ヨガインストラクターの松本莉緒さんやオイシックスアルビレックスBCの選手が新潟の農林水産物の魅力を語るトークショーや枝豆早食い選手権が開催され、悪天候の中ではありますが多くのお客様にご来場いただきました。



にいがた和牛推進協議会ブース



会場の様子

にいがた畜産女子会 活動

「畜産・食品関係の機械・資材を学ぶ」県外研修を実施しました！

10月10日(木)～11日(金)、日本最大／アジア最大級の農業・畜産の展示会「農業WEEK (J-AGRI)」と「食」の総合展示会「FOOD展」を訪問し、畜産や食品に関する機械や資材などについて情報収集を行いました。

1日目は千葉県の幕張メッセで開催された農業WEEKを訪問しました。開催期間の3日間で約900社が出展し、来場者数は延べ3万人にもなる大規模なイベントです。出展者も展示内容も様々で、農場でおなじみの資材から最新技術を駆使した機械まで、目移りしてしまうほどの展示がありました。



農業WEEK会場入り口で記念撮影



広いスペースにたくさんの出展ブース。
会場全体では、この倍近くの広さがありました。

2日目は東京都の東京ビッグサイトで開催されたFOOD展を訪問しました。こちらは食品の加工や調理、梱包や流通といった資材や機械が主で、6次産業化などの参考になる展示もありました。それ以外にも、HACCPや加工食品の輸出について展示しているブースもあり、「食品」の視点から畜産生産を考える良い機会になりました。



こちらも広い会場にたくさんの出展ブースがあり、大人数が来場していました。

家畜伝染病の発生リスクが高まっています！ 防疫対策の再点検・徹底をお願いします

新潟県農林水産部畜産課

これからの時期、年末・年始、春節等により人や物の移動が盛んになることから、国内に家畜伝染病が侵入するリスクが一段と大きくなります。このため、家畜の所有者及び畜産関係者の皆様方には、防疫対策の再点検・徹底をお願いします。

【家畜伝染病の発生状況】（令和6年12月10日現在）

- ▶ 高病原性鳥インフルエンザ：県内では、10月に上越市、11月に胎内市で発生し、34万羽が処分されている。国内では、今シーズン、養鶏場では過去最も早く、令和6年10月17日に北海道で発生が確認され、12月10日までに11道県13例発生し、約148万羽が処分対象となっている。
- ▶ 豚熱：令和6年8月に新発田市の養豚場で発生が確認された。県内の野生イノシシでは、令和6年度は16頭の感染が確認されている。国内でも、野生イノシシの感染が継続しており、北海道以外の都府県で飼養豚にワクチンが接種されている。
- ▶ ランピースキン病：令和6年11月、国内で初めて福岡県で確認され、その後、乳用牛及び肉用牛農場の複数農場で確認されている。
- ▶ アフリカ豚熱、口蹄疫：韓国で発生が続いている。



ランピースキン病の症状

【家畜防疫対策】

1 国内への侵入防止

（畜産関係者の海外渡航の自粛等）

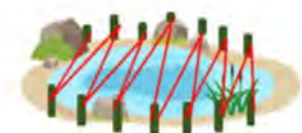
- ・アフリカ豚熱、口蹄疫等の発生地域や非清浄地域への不要不急の渡航を自粛する。
- ・外国人従業員等に対して、国内への肉製品等の持ち込み禁止を徹底させる。

2 農場への病原体持ち込みの防止（飼養衛生管理基準の遵守徹底）

- ・関係者に対する立入時の靴の履き替え等の徹底、看板等設置による部外者の立入禁止。
- ・衛生管理区域及び畜舎専用衣服や靴への例外のない交換、交差汚染の防止。
- ・野生動物の侵入防止（防護柵・ネットに破損がないか確認、畜舎壁の穴・隙間の点検）。
- ・畜舎周辺の散水・消毒、鶏舎入気口へのフィルターや噴霧器の設置等。



出入口にネットや
チェーンカーテンを張る



水場は水を抜くか
テグスを張る

3 早期発見及び早期通報

- ・飼養家畜に異状が確認された場合は家畜保健衛生所に速やかに通報する。

にいがた和牛推進協議会からのご報告

○にいがた和牛キャンペーンを実施しました

にいがた和牛推進協議会（事務局：畜産協会）は、物価高の影響により厳しい情勢にある和牛肉の消費を支援するため、「にいがた和牛」の消費拡大を目的とした『にいがた和牛を食べると新潟米 新之助が当たる！にいがたの「ぜいたく」を味わおう！キャンペーン』を実施しました。

このキャンペーンは、「にいがた和牛」精肉等の購入者や、「にいがた和牛」料理の飲食者を対象に、県を代表する高級農産物である「新潟米 新之助」5kgが抽選で100名に当たるもので、11月1日から1か月間実施したものです。

おかげさまで、県内を中心に全国からたくさんの応募があり、多くの消費者から好評をいただく結果となりました。

○にいがた和牛取扱指定店の「楯」を作成しました

にいがた和牛取扱指定店における「にいがた和牛」及び「取扱指定店」の知名度向上、並びに「にいがた和牛」の一層の販売促進を図るため、新たな販売促進資材として「楯」を作成しました。取扱指定店にお越しの際は、ぜひ実物をご覧ください。

取扱指定店一覧はこちら



(<https://niigata-chikusan.jp/pages/302/>)



畜産映像情報

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中的内容：総集編 思いが繋ぐ畜産の未来／明るい未来へ向けて畜産DXの取り組み／乳用牛改良の取り組み／地域ぐるみで国産飼料生産！ ほか

がんばる! 畜産! 8

畜産映像情報
がんばる! 畜産! 8

◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産

(公社) 中央畜産会 経営支援部 (情報) TEL03-6206-0846



畜産安心ブランド生産農場だより

新潟県農業総合研究所畜産研究センター
関崎 幸一（肉牛担当）

畜産研究センターでは黒毛和種を、採卵するための供卵牛として約20頭、肥育試験を行うための肥育牛として12頭飼養しています。

供卵牛は育種価が上位のものを取り揃え、その受精卵を県内農家の皆様に供給する役割を担っています。供給した受精卵から雌が生まれた場合には、その雌牛がさらにその地域で供卵牛や繁殖牛になり改良の柱となっていくこと、雄が生まれた場合には優れた枝肉成績を出せるようお願いが込められています。

この原稿を書いている12月は、北海道全共（肉牛の部）への出品に向け、ゲノミック評価が特に優れた県内雌牛から採卵した受精卵の移植が佳境に入っており、当センターの獣医師が県内を駆け回っています。今後も当センターの受精卵供給や移植の取組へ応援、御協力をよろしくお願いします。

肥育試験牛は2年周期で導入・出荷を繰り返しており、今年はちょうど出荷の年に当たり、6～7月に出荷しました。今回の試験牛は7か月齢から早期に肥育を開始し、24か月齢で出荷しながらも、一般的な約30か月齢で出荷した牛と遜色ない枝肉成績・食味を確保しようとしたものです。詳しい試験の成績は次年度の春に公表になりますが、なかなか良い成績を残すことができました。今後、牛肉の個体識別番号を検索して、もし畜産研究センターの牛でしたら、それは2年に1回しか巡り合えないレアなものです。

北海道全共の上位入賞に向け、ゲノミック評価を活用した受精卵の作出、移植～子牛の発育促進、24か月齢出荷での優れた肉質の確保、とトータルでサポートする当センターの取組に御期待ください！



ちくさん女子の窓

えちご上越農業協同組合
石井 夏実

私は学生時代、高田農業高校から農業大学校と畜産に関わることを学んできました。

全ては「動物が好きだから」という単純な理由です。

私の家は非農家なので牛を飼うことはできませんが、現在は猫3匹を飼っています。最近、新入りの子が増えたばかりで家の中がとても賑やかです。

夜は私の腕枕で寝ているので体が毎朝痛いですが、寝顔を見ているととても癒されるので動物ってすごいなと日々感じています。

ちくさん女子の窓では会員の方々の飼育している動物の話や近状等を知れるので毎回の楽しみにさせて頂いています。引き続きこれからも沢山の話を楽しみにしています！



畜産物を生産するためのコストが上昇しています。皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人
中央畜産会
中央畜産会

東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9F TEL.03-6206-0840

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

編集後記

あけましておめでとうございます。昨年は公益社団法人中央畜産会の畜産経営指導支援方針検討委員に選出され、全国の名だたる総括畜産コンサルタントに採まれながら今後の畜産経営への支援体制をより強力に整備できるよう検討を重ねてきました。

委員の中ではまだ若造であり微力ではありますが、畜産経営の一層の発展を目指して今年も検討委員として活動してまいります。

（編集担当：谷川）